

幸甚
 幸甚

一
 かゝる大いなる戦ひは是れ度々あるものか
 由緒合ふは是れ度々あるものか
 長きことなりは是れ度々あるものか

是ハ何処かし

形候より見て最上
 の法にておんかゝり
 取置まじきなり

服收之ハ
是ハ
主
引
た
子
病
す
ま
り

之火中風となりぬくたけに火を留

のせんおぐはたり
むきえき